

べと病 (Downy mildew)

Pseudoperonospora cubensis など



キュウリの被害



カブの被害

発生生態

ウリ類、アブラナ科、ネギなどで発生し、主に下葉に輪郭のはっきりしない淡黄色の斑点を生じます。病斑はしだいに拡大して、葉脈で区切られた多角形となります。

春と秋に発生し、曇天や雨が続いて湿度が高くなると多発しやすくなります。また、前年発生した場所では、発生しやすくなります。

防除対策

気温が低く曇雨天が続くと発生しやすくなります(特にアブラナ科野菜では、結球開始期以降)。発病初期の薬剤散布を行いましょう。

肥切れは発病を助長しますので、肥培管理に注意しまししょう。